新型コロナウイルス感染症の患者の発生について (仙台市内10例目)

4月2日(木)午後4時ごろ、市内において新型コロナウイルス感染症の患者1人が確認されました。市内で新型コロナウイルス感染症の患者が確認されたのは10例目、県内では12例目となります。

この患者は、3月30日(月)ごろから発熱や頭痛などの症状があり、3月31日(火)にコールセンターに相談し、近隣の医療機関を受診しています。4月1日(水)に当該医療機関から紹介された別の医療機関を受診し、紹介先の医療機関から帰国者・接触者相談センターに相談、検査を行ったところ、本日午後4時ごろに陽性が判明したものです。

現在、入院する感染症指定医療機関を調整中であり、患者は自宅で療養中です。状態については落ち着いており、重篤な状況ではないとのことです。今後、患者の行動歴などを確認し、濃厚接触者を把握するとともに、健康観察を行っていきます。

1 患者について

(1) 年代 40代

(2)性別 女性

(3) 国籍 日本国籍

(4)居住地 仙台市内

(5) 濃厚接触者 調査中(行動歴を調査したうえで人数を確定)

(6) 経過

3月30日(月)頃 労作時の喘鳴、発熱(37℃台後半~38℃)、強い頭痛あり

3月31日(火) 発熱(38.5℃) コールセンターに電話で相談

近隣の医療機関を受診

4月 1日(水) 近隣の医療機関から紹介された他の医療機関を受診

紹介先の医療機関から帰国者・接触者相談センターに相談

4月2日(木) 検査を実施し、陽性が判明

(7) 海外渡航歴 発症前2週間における海外渡航歴は無い

(8) 行動歴 行動経過については現在調査中

患者、医療機関等の特定に係る情報の収集等につきましては、プライバシーの保護のため、 本人等が特定されることのないよう特段のご配慮をお願いいたします。